

地球研 都市基盤グループ 都市地理班打ち合わせ

2006.2.16

於、立命館大学

歴史都市防災研究センター

打ち合わせ会の内容

I. ビジネスミーティング

1. 2月1日のグループリーダー会議の報告
2. 予算
3. 研究計画
4. 資料収集・データベース化・デジタル化作業
5. 研究の公表構想
6. 資金獲得計画
7. その他

II. 研究成果の発表

III. 懇親会

1.2月1日のグループリーダー会議

□ 別途資料参照

2. 予算(全体)

当初予算

平成18年度 1億円

平成19年度 1億円

平成20年度 1億円

平成21年度 0.7億円

平成22年度 0.5億円

決定予算

0.856億円

0.8億円+a

0.8億円+a

0.7億円

0.5億円

2. 予算(都市基盤グループ)

平成18年度

合計700万円(うち人件費250万円、都市社会班300万円、都市地理班150万円+科研費から150万円)

平成19年度

合計700万円(うち人件費250万円、都市社会班300万円、都市地理班150万円)

平成20年度

合計900万円(うち人件費250万円、都市社会班400万円、都市地理班250万円)

平成21年度

合計450万円(都市社会班300万円、都市地理班150万円)

平成22年度

合計300万円(都市社会班150万円、都市地理班150万円)

3. 研究計画

□ 都市地理班としての計画と個別研究の計画
(別途資料参照)

@検討事項

与えられた予算で実施可能な研究

(特に、海外調査の方法に関する再検討)

地図・空中写真・衛星画像の収集

デジタル化作業

データ提供作業

データベース化作業

5. 研究の公表計画

- (1) 日本地理学会、日本水文科学会などで、連続して発表
 - (2) ないし、数年後にシンポジウムの開催
 - (3) 学会誌への投稿
 - (4) 海外の学会・シンポジウムで発表
 - (5) 国際雑誌に投稿
- @これらを班として戦略的に実施することはできないか検討
-

6. 資金獲得計画

- 可能なファンドを探し、班として申請ができないかどうか検討する。

(例:財団法人国土地理協会、福武学術文化振興財団など)

- ・科研費への応募など
-